

ふるさとだより② 岩手日報提供 発行 ブラジル岩手県人会

Furusato Dayori

Rua Thomaz Gonzaga 95 - M Liberdade São Paulo SP Brasil CEP 01506-020 TEL/FAX (55 -11) 3207-2383 E-mail: iwate@iwate.org.br www. iwate.org.br

2015年2月発行

東日本大震災から4年

2011年3月11日あの忌まわしい大震災から、まもなく4年を迎えます。国では東日本大震災が発生した3月11日を「東日本大震災の日」と定める法案を「大震災の教訓の伝承を図り、国民に広く災害対策についての関心と理解を深める」案を今年3月から適用したい考えだ。

大震災は忘れられない出来事、ふりかえることも大事であるが、 皆さんと共に来る3月11日、静かに震災犠牲者の冥福や被災地 の早期復興を願いう「心の支援」も大事なことだと思う。

この「ふるさとだより」で、県内各地の復興状況や被災者の気持ちをニュースと共に伝えたいと願っている。 (編集子)

被災地を歩く東日本大震災本紙記者ルポ Ⅳ

復旧終え備えの設備 久慈港半崎地区 2014.6.17

4月末に全ての復旧・復興工事を終えた久慈市夏井町の久慈港半崎地区に立地する久慈国家石油備蓄基地を高台から見下ろした。太

平洋沿岸に冷涼な気候をもたらす「やませ」で海はかすんでいたものの、震災前の姿を取り戻した光景を目の当たりにして喜びを感じた。



そこから少し離れた場所には昨年は造成工事中だった非常用設備が完成していた。同基地を管理する石油天然ガス・金属鉱物資源機構久慈国家石油備蓄基地事務所によると、同設備には非常用自家発電機や不燃性ガス供給設備などを整備。地上設備が被災しても、地下の岩盤タンクの原油を維持管理できるようになったという。

その他、地下トンネルから非常用設備につながる約100メートルの連絡トンネルと約80メートルのらせん階段、震災前は一つだった高台への避難路をもう一つ造るなど、次なる災害にも備える。

同事務所の中島一喜所長は「地元をはじめ、多くの作業員らの協力で無事故で復旧・復興を終えられたのは良かった」と感謝した。



同基地近くの野球場やテニスコート、遊具などがある久慈港半崎緑地公園も元の姿に。昨年7月に復旧した同公園では現在、震災前と同じように地域の子どもや親子連れの憩いの場になって

おり、被災地が日常を取り戻していると感じた。

一方で、基地の作業トンネルを活用した同市侍浜町の地下水族科学館もぐらんぴあの再建はこれからだ。市によると、9月に着工し、来年秋ごろにオープン予定だという。

市内は昨年からの「あまちゃん」効果で観光客が多く訪れており、観光施設の復旧は追い風となる。

市の沢里充男産業振興部長も「もぐらんぴあは復興と観光の面でシ

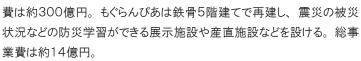
ンボルとなる。あまちゃん効果を持続させるため、市内を周遊するバスルートを新たに検討するなど対応したい」と先を見据える。

もぐらんぴあの再建を地域住民も待ち望む。半崎町内会の高橋繁男会長(69)は「震災前にもぐらんぴあの前では朝市が行われ、地元漁師や婦人部が海藻や貝類を販売していた。再建されて再び行われれば、地域も活気づく」と期待する。

住民が願う地域の復興。もぐらんぴあの建設予定地の前に立ち、同じように願わずにはいられなかった。(報道部・三浦隆博)

久慈港半崎地区 久慈国家石油備 蓄基地は1987年に工事着手し、93 年に完成。94年には同基地の作業トン ネルを活用した地下水族科学館もぐら んぴあがオープンした。

同基地の復旧・復興工事の総事業



【写真企=4月末に復旧・復興工事を終えた久慈国家石油備蓄基地。 高台の非常用設備や新たな避難路の整備など、次なる災害にも備える= 2014 年 6 月13日】

【写真⊕=津波被害で総合管理事務所(右)を残しほぼ全壊した久 慈国家石油備蓄基地の地上施設=2011年3月12日】

【写真①=修復工事が進む総合管理事務所。周囲は更地となり、がれきの運搬や撤去が行われている=2011年6月20日】



第29回全日本わんこそば選手権(実行委主催)は9日、盛岡市松 尾町の盛岡劇場で開かれた。昨年復活した個人選手権は、前回覇者 の会社員井本(いもと)英明(ひであき)さん(43)=神奈川県小 田原市=が、他の競技者より時間が5分少ない優勝経験者ハンディを はねのけ、10分間で344杯を食べて2連覇を果たした。

個人選手権と、一般とこどものグループ選手権が行われ、約200人が参加。10人で争った個人選手権は、5分遅れて食べ始めた井本さんが驚異的なペースで逆転した。



井本さんは「自分を 信じ頑張った。とても うれしい」と喜んだ。 【写真=個人で2連 覇を果たした井本英 明さん(前列左端)】 (2014/11/11)

「イギリス海岸」2年ぶり出現 花巻、賢治の命日に



宮沢賢治の命日に当たる21日、花巻市内は郷土の先人に思いをはせる催しでにぎわった。同市桜町4丁目の「雨ニモマケズ」詩碑前では市民らが朗読や合唱を披露する

「賢治祭」が開かれ、県内外から賢治ファンが駆け付けた。同市上小舟渡の北上川では水量調整の成功で「イギリス海岸」の泥岩層が現れ、節目の日に花を添えた。 イギリス海岸出現は、水位低下の試みが2年ぶりに成功し、北上川の中央に賢治がイギリス海岸と名付けた泥岩層が出現した。好天の中、見物客は普段は見られない光景を眺め、賢治の世界に浸った。 岩手河川国道事務所によると、北上川ダム統合管理事務所や県、発電事業者などの協力を得て、20、21の両日、四十四田、御所、田瀬、綱取、早池峰の5ダムと猿ケ石発電所で取水調整を行った。試みは2007年から始まり、成功は3回目。 家族で訪れた同市上小舟渡の会社員(41)は「見られる機会があるのはいいこと」とほかにない資源の活用を喜んだ。【写真=北上川の中央に露出した「イギリス海岸」の泥岩層を眺める観光客ら】(2014/09/22)

盛岡に葛巻の魅力 「出前」 中津川河川敷で

「第13回くずまき高原 牧場in中津川 ミルク& ワインフェア」は27日から、盛岡市中の橋付近 の中津川河川敷で始まり、大勢の家族連れが 牧場体験や食の魅力を 堪能した。



牛の乳搾りや動物との触れ合い、アイスクリーム作りなどの体験が繰り 広げられ、ステージでは歌謡ショーなども行われた。

先着100人に無料提供された高原牛の丸焼きを求め、多くの人が列をなしたほか、牧場産のチーズを使った炭火焼きピザも人気を集めた。

家族で訪れた盛岡市の小学1年の児童は牛と触れ合い「大きくて少し怖かったけど、楽しかった」と笑顔を見せた。 28日は午前10時~午後4時。入場無料。【写真=中津川の河川敷で牛との触れ合いを楽しむ子どもたち】(2014/09/28)

陸前高田で初の災害公営入居 「広くていい」住民笑顔

東日本大震災で大きな被害に遭った岩手県陸前高田市で1日、市 内初となる災害公営住宅の入居が始まった。仮設住宅などで不自由 な生活を送ってきた被災者は「広くていいね」「やっと落ち着ける」と、 笑顔で新たな住まいを訪れた。

住宅は市営の「下和野団地」。津波浸水域を海抜12メートルまでかさ上げして建設し、鉄筋コンクリート最大7階建て。2棟が渡り廊下でつながっている。

1DKから3DKの間取りで全120戸あるが、入居者が決まっていない

住宅も若干ある。1階には衣料品などの店舗が入る予定で、6階には災害時に約100人が避難できる集会室もある。入居が決まった災害公営住宅の下見に親族と訪れた、津波



で妻と長男を失った伊藤正春さん(右) = 2014 年 10 月 01 日 岩 手県陸前高田市

秋サケの採捕作業盛ん 宮古・津軽石川

宮古市の津軽石川河口で、宮古漁協津軽石ふ化場による秋サケの 採捕作業が盛んに行われている。9日は10人が参加し、秋の肌寒い 空気の中、水面で勢いよくはねるサケを手際よく捕まえていった。

午前8時ごろから作業を開始。しぶきを上げるサケを網で追い込み、 陸地近くで雌雄を選別。30分ほどで84匹を捕獲した。

県水産技術センターによると、9月末現在で本県の秋サケの漁獲量は 海と川を合わせて約21万匹。前年同期比では約1・5倍。ただ秋サ



ケ回帰のピークは11月以降で、今年は2011年春に放流した4歳魚が主に回帰することから、東日本大震災の影響も懸念され楽観はできない。

津軽石川では9月上旬から採捕を始め、10月9日現在の数量は9434匹で昨年同期の8割程度。当初の予想よりは好調だという。同川での採捕は10月末まで地引き網漁で行い、定置網方式に移行して来年2月まで続く。【写真=漁業者によって選別され、水しぶきを上げて宙を舞うサケ=9日、宮古市・津軽石川河口】(2014/10/10)]

県内 10 市町村に 868 億円配分 第 10 回復興交付金

復興庁は25日、復興事業に充てる復興交付金の第10回配分額を発表した。区画整理や道路整備、災害公営住宅の建設を進めるため岩手県内10市町村に約868億円を交付する。

宮古市には津波を防ぐ防護施設の設計費(1100万円)など173億円、山田町は津波防災緑地の設計費(2800万円)など146億円、陸前高田市は高田地区のかさ上げ地と病院をつなぐ道路の設計費(2億100万円)など97億円を配分する。

大船渡市は、崎浜地区の高台移転跡地に養殖資材や網置き場の整備費(4900万円)など86億円。釜石市が最も多い287億円、大槌町45億円、田野畑村16億円、一関市7億円、野田村6億円、岩泉町1億円が配分される。 配分額は事業費ベースで、地方負担分は特別交付税で措置されるため自治体負担は実質ゼロになる。(2014/11/26)

山は雪化粧、近づく冬の足音 雫石で大根収穫最盛期

29日の県内は冬型の気圧配置が緩み、おおむね晴れや曇りとなった。雪化粧した岩手山を望む雫石町七ツ森の畑では、大根の収穫が

最盛期を迎 えている。

電石町の 大起業では収々を は収々を は、袋を は、袋を が、たまでいた。



同日の雫石の最高気温は12・5度で、平年を1・7度下回った。冷 たい風が大根の葉を揺らし、走るように抜けていく。岩手山は中腹まで 雪に彩られ、近づく冬を感じさせた。

滝沢市鵜飼(うかい)の農業安(あ)孫子(びこ)正さん(63)は「生育が良く、いい大根に仕上がった」と自信を見せた。作業は11月中旬まで続く。【写真=雪をまとう岩手山を背景に、作業が進む大根の収穫=29日、雫石町七ツ森】(2014/10/30

「黄色のじゅうたん」秋彩る 軽米で食用菊収穫期

22日の県内は前線の影響で曇りとなり、11月上旬から中旬 並みの寒さだった。軽米町晴山では食用菊畑が収穫期を迎え、鮮 やかな黄色のじゅうたんが秋の農村を彩っている。

約10アールで食用菊を栽培する同町晴山の農業小笠原三次郎さん(69)の畑では、手作業で一つずつ丁寧に摘んでいく。妻はるえさん(65)は「夏の暑さで量は少ないが質はいい」と精を出す。

収穫後は地元の農業池端健吾さんの加工場で蒸して一晩乾燥。 歯ごたえがあり、甘みのある自慢の品は県内や青森県に出荷され

【写真品な 用色 花 た に がん が が らう =



22日、軽米町晴山】 (2014/10/23)

アメリカで本物の日本酒を ベルさん 南部美人で修業



人」(久慈浩介社長)で杜氏修業に励んでいる。大好きな麹(こうじ) の香りに包まれた仕事場で、来年4月まで一途に夢を追いかける。

修業を始めて約6週間。たる状の蒸し器「甑(こしき)」に酒米を敷き詰めたり、タンクのもろみをゆっくりかき混ぜる「櫂(かい)入れ」を行ったり。他の蔵人と毎日仕事に励んでいる。

日本酒との出会いは6年前。米国でレストランの従業員として酒の勉強をしている中で口にした。「酸味、うま味、甘味、全てのバランスが最高」。すぐにとりこになった。

「米国人に日本酒を浸透させるには、米国で本物の日本酒を造らなければならない」。出身地の米国南部アーカンソー州は、水資源が豊富で全米ーの米どころ。古里を日本酒の産地にしようと、日本での修業を決意した。日本酒造りの夢に向かって真っすぐに努力する姿はまさにNHK連続テレビ小説の「マッサン」だ。「大きな夢があるから、そこに向かっている日々はとても幸せ」と充実感を漂わせる。【写真=夢の実現に向けて酒造りに励むベン・ベルさん】(2014/11/21)

高 田 地 区 の 盛 り 土 本 格 化 陸前高田 / 平均 7・4 メートル

陸前高田市高田地区の中心市街地で、盛り土工事が本格化している。市は同地区93ヘクタールと今泉地区33・6ヘクタールで平均7・4メートルかさ上げし、2018年度の完了を目指す。中心市街地では最も早いエリアで来年度半ばには建物着工が可能となる見通した。

21日は同市高田町館(たて)の沖(おき)周辺の現場を報道機関に公開した。盛り土工事は20日から館の沖周辺約4へクタールで本格的に始まっており、今泉地区の高台からベルトコンベヤーで運搬した土砂を55トンダンプで搬入。ブルドーザーで1層30センチ以下にならし、

振動ローラーで転 圧していた。

盛り土工事では ブルドーザー、ロー ラーとも衛星利用 測位システム(G PS)を活用し厚 さや転圧回数を管



理。1層ごとに15地点で地盤強度を測定する。地下には排水溝を配置し、雨水を排水する。 高田地区全体のかさ上げと平地部の盛り土の量は東京ドーム6個分の768万立方メートル。今泉地区、高田地区の高台切り土を活用する。かさ上げ地の造成完了は高田地区の中心市街地の最も早い場所で来年度半ば。今泉地区の商業系エリアは17年度以降の見通し。【写真=55トンダンプで土砂を運搬し、振動ローラーで転圧する高田地区館の沖の工事現場。市街地での盛り土工事が本格化した】(2014/10/22)

山田線、3月7日着エヘ JR 復旧工事後に三鉄移管

JR山田線宮古一釜石間(55・4キロ)の復旧工事に伴う安全祈願式典は3月7日に宮古市内で行われる方向であることが22日、関係者への取材で分かった。東日本大震災から丸4年を前に着工することが内定した。工事はJR側の負担で行われ、復旧後の運営は第三セクター・三陸鉄道(本社宮古市)に移管される。2016年岩手国体までに一部区間で運行再開することを視野に鉄路復旧を加速させる。

安全祈願式典はJR山田線と三陸鉄道の接続地点で、三鉄本社もある宮古市を会場に、JR東日本や県、地元市町村、業者らが参加を予定する。 運行再開



は、震災復興を全国に発信する16年岩手国体の開催までに、被害が 比較的軽い区間で先行させる見通し。地元自治体の復興事業と調整 しながら鉄道施設の整備を急ぐことになりそうだ。(2015/01/23)

小岩井の雪まつり31 日開幕 雪像、迷路や大滑り台

第48回いわて雪まつり(実行委主催)の開幕を翌日に控えた30日 夕、雪像の引き渡し式が会場となる雫石町の小岩井農場まきば園で行われ、関係者がまつりの成功を祈った。



特科連隊の田村仁志第3大隊長が「心を込めて制作した」と実行委会長の深谷政光町長に雪像を引き渡した。関係者4人が点灯スイッチを押すと、照明に彩られた雪像が、雪の降る会場に浮かび上がった。今年は「あそぼう!メルヘンの世界」をテーマに、迷路や大滑り台、SL銀河などの雪像11基が来場者を出迎える。2月8日まで午前9時~午後9時。毎日午後7時半から、花火も打ち上げられる。入場無料。【写真=関係者が雪像の前でまつりの成功を期した引き渡し式=30日、雫石町・小岩井農場まきば園】(2015/01/31)

心も温まる郷土食「かっけ」 軽米の有志、盛岡でPR

軽米町の若手有志が昨年結成した「かるまいのかっけをみんなに食べさせ隊」(古舘拓(ひろし)隊長、隊員23人)は25日、盛岡市中ノ橋通1丁目のNanak(ななっく)で、同町などで親しまれている「かっけ」を買い物客に振る舞い、誇りとする郷土食をアピールした。

「かっけ」の名前は、そば打ちの時に出るそば生地の切れ端に由来

するといわれる。 今回は、 三角形の「かつけ」を豆腐、 大根と共にゆで、ニンニクみ そを添えて振る舞った。 買い 物客は「懐かしい味」「素朴 でいい」と味わった。

古舘隊長は「『かっけ』を



広く知ってもらい、地域の活性化につなげたい。切れ端も大事に扱った心の温かさも同時に伝えられたのではないか」と手応えを感じていた。 【写真=郷土食「かつけ」をPRする「食べさせ隊」の隊員たち(手前)】 (2015/01/26)

岩手銀行「赤れんが」 活用へ始動 盛岡で初のシンポ

現在、修復工事が進められている国の重要文化財、盛岡市中ノ橋通の岩手銀行旧本店本館(旧中ノ橋支店)の活用と周辺活性化をテーマにした初のシンポジウムは17日、同市中ノ橋通のプラザおでってで開かれた。2016年春の公開を見据え、赤れんがの洋館で親しまれる地域資源としての意義や活用策を探り、にぎわい創出について討論した。



め開催した。

パネルディスカッションでは、岩手大の三宅諭准教授、盛岡商工会議所の佐藤誠司地域振興部長ら5人のパネリストが、旧中ノ橋支店の魅力を議論。三宅准教授は「お金の貸借は銀行。別のものに対して利息を付けられる空間になると良い」と期待すれば、佐藤部長は「盛岡芸妓(げいぎ)の体験ができるスペースも面白い」とのアイデアを披露した。

商工関係者や市民団体など多分野の市民でつくる「赤レンガ周辺地

域活性化委員会」の設立を宣言。同行が事務局を務め、今 後の建築物の在り方を幅広い視 点から検討していく。

【写真(右)=岩手銀行旧本 店本館の在り方についてシンポ ジウムで討論するパネリスト】【写



真(左)=修復工事前の岩手銀行旧本店本館。現在は2016年春の 一般公開を目指し、工事が続けられている】(2014/12/18)

「ふるさと岩手だより」は今号から「ふるさとだより」と改めました ご了承下さい。編集子

2014 年 読者が選ぶ岩手の十大ニュース

【1位】 震災3年 三鉄完全復旧(3968点) 三陸鉄道(宮古市、 望月正彦社長)は4月6日、東日本大震災で最大の被害を受けた北リ アス線田野畑―小本間(10・5キロ)の運行を再開した。5日の南リア ス線釜石―吉浜間(15キロ)と合わせて、三陸沿岸の公共交通の柱 となる南北リアス線全107・6キロが完全復旧を果たした。



津波で線路が流され、 駅付近ががれきだらけに なったあの日から、復活 を信じ待ち続けた住民の 歓迎に列車の汽笛が応 え、走った。

汽笛を響かせトンネルを

抜ける。午前6時9分、太平洋を背に久慈発宮古行きの上り一番列車 が田野畑村の島越駅に到着した。被災から3年余り。「走っている光景 はやっぱりいいもんだ」。住民の感謝の声が連なった。同日式典が行わ れた宮古駅や久慈駅は「(1984年4月の) 開業以来の人出」というほ どのにぎわい。宮古駅では望月社長が運行再開を宣言。記念列車を万 歳三唱で送り出し、マイレールは春風を受けて快走した。【写真=大勢 の見送りの中、宮古駅を出発する北リアス線下りの記念列車。輝く車体 が青空に映えた=4月6日、宮古市栄町】

【2位】大谷最速162キロ 球宴新(3204点)

プロ野球のマツダオールスターゲーム2014は7月19日、兵庫県西 宮市の甲子園球場で第2戦を行い、全パ先発の大谷翔平投手(日本 ハム、花巻東高)が自己最速で、球宴新記録となる162キロをマーク

した。大谷は10月の公式戦でも162キ 口を出した。

公式戦で、日本選手の最速は由規 (ヤクルト) が2010年に出した161キ 口。外国人選手を含めると、08年のク ルーン(巨人)が記録した162キロが 最速で、その数字に並んだ。

球宴で大谷は一回のみ登板し、1番 鳥谷(阪神)の2球目と5番阿部(巨 人) の1球目でそれぞれ162キロを記



録した。 大谷は今季11勝10本塁打を記録、日本プロ野球初の2桁 勝利と本塁打を達成した。【写真=オールスター第2戦で先発し、球 宴新記録となる球速162キロを2度マークした全パ・大谷翔平投手= 7月19日、甲子園】

【3位】 滝沢市誕生 中心部形成へ(3073点)

滝沢村の市制移行により「滝沢市」は1月1日、誕生した。市は長 年の懸案だった中心市街地の形成に着手する。市役所前の農地のう ち、約4ヘクタールに2016年度完成予定の交流拠点複合施設を建設



するほか、民間開発によっ て商業施設の集積を図

県央に新たな副都心 機能を持つ自治体が誕 生したことにより、人口約 48万人の盛岡広域圏(8 市町)は、東北で仙台市

(約107万人)に次ぐ都市圏形成を目指す。

町を飛び越え市に移行するのは02年の沖縄県豊見城(とみぐすく) 村(現豊見城市)以来、全国2例目。

滝沢市となり生活保護や児童扶養手当、障害児童福祉手当の認定・ 給付など、県から30の事務権限が移された。

【写真=大みそかの滝沢市誕生イベントで声高らかに合唱する住民= 2013年12月31日、滝沢村】

【4位】 21年ぶりの完全国体決定(2411点) 日本体育協会は1月 15日、東京都内で理事会を開き、2016年冬季国体(スキー、スケー ト、アイスホッケー)の本県開催を正式決定した。

【5位】 SL復活「銀河」定期運行(1958点) JR東日本(冨田 哲郎社長)は4月12日、釜石線の花巻一釜石間90.2キロで蒸気機 関車「SL銀河」の定期運行を始めた。戦前に造られ、約40年前に 鉄路を引退後保存されていたが、東日本大震災の復興支援として復 活させた。沿岸被災地にとって全面復旧した三陸鉄道に続く明るい話 題。【写真=約40年ぶりに復活運行したSL銀河。釜石駅の到着を大 勢の市民や鉄道ファンが喜んだ=4月12日、釜石市鈴子町】

【6位】 滝沢でAKB切り

【7位】 衆院選 小沢氏4 区死守(1684点)

つけ(1947点)

【8位】 さんさ太鼓 ギネス

奪還(1421点)

【9位】 山田NPO代表理事逮捕 (1356点)

【10位】県北中心に記録的大雪 (1281点)



20歳の船出、亡き友も

一緒に 震災3年10カ月

振り袖姿の遺影が、旧友の手に抱かれて優しくほほ笑みかける一。東日本大 震災から3年10カ月となった11日。県内各地で成人式が行われ、釜石市甲 子(かっし)町の釜石高では式後、震災で犠牲になった岩鼻美沙紀さん=当 時釜石商工高1年=の遺影を囲み、同級生が写真を撮った。晴れ着姿の写 真を用意したのは父親の金男さん(50)。間もなく4年となる今も、残された人々 の胸の内に、震災犠牲者は生き続けている。

「いなくなった実感がまだない。式にもただ来なかっただけなんじゃないかっ て」。幼なじみの藤原奈々さん(駒大2年)は、美沙紀さんの遺影に目を落と



しながらぽつぽつと話した。釜石東中 時代の仲間たちと一緒に、遺影を抱 えて笑顔で写真に納まった。

振り袖姿の写真は金男さんがこの 日のために用意した。手元にある遺 影を元に、写真店に頼んで合成して もらった。白と桃色の鮮やかな振り袖 がよく似合う。

「父親としてやってやれなかったことをやり、祝ってあげたかった。あいつなら 絶対、成人式に来ていると思う」と目を伏せた。金男さんは静かに語った。「素 直にきょうはおめでとうと言いたい。これまでずっと娘に助けてもらった。お父さ んの娘でいてくれてありがとう」【写真=振り袖姿の岩鼻美沙紀さんの遺影を手 に、笑顔で記念撮影する友人の(右から)藤原奈々さん、橋本彩さん、幸崎 梨奈さん=11日、釜石市・釜石高】(2015/01/12)





分差月2 年2102 号2 いもおろちるふ

Rus Thomas Conzaga 95-M Liberdade São Paulo Brasil CEP 01506-020 TEL/FAX (11) 3207-2383 www iwate.org.br e-mail iwate@iwate.org.br

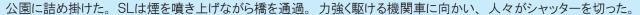


Associação Cultural e Assistencial Iwate Kenjinkai do Brasil 会 人 県 手 場 化 ぐ で 下

闇夜を駆けるSL銀河 遠野宮守めがね橋

JR東日本盛岡支社は5日夕、SL銀河ナイトクルーズ(12月6日)に向けて蒸気機関車「SL銀河」の試験走行を行った。 遠野市宮守町のめがね橋では、ライトアップされた橋を機関 車が駆け抜け、宮沢賢治の童話「銀河鉄道の夜」の世界を 表現した。

地域住民、鉄道愛好家ら約100人が同市のめがね橋緑地



「銀河鉄道の夜」は、めがね橋や岩根橋を走る岩手軽便鉄道がモチーフとされる。同支社は作品の雰囲気などを味わってもらおうと同クルーズを企画した。同市宮守町のめがね橋「絆」作戦実行委の八重樫正昇(まさのり)委員長(68)は「SL銀河の力で地域をけん引してもらいたい」と期待した。【写真=煙を噴き上げながら、めがね橋を走る蒸気機関車「SL銀河」。鉄道愛好家らが童話「銀河鉄道の夜」の世界観に触れた=5日午後5時41分、遠野市宮守町】(2014/11/06)

